

令和7年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和6年度事業対象)



さくら市教育委員会

目 次

はじめに	・・・・・・・・ 3
第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要	
1 点検・評価制度導入の経緯	・・・・・・・・ 4
2 点検・評価の趣旨	・・・・・・・・ 4
3 本市の教育委員会評価	・・・・・・・・ 4
4 評価のしくみ	・・・・・・・・ 5
5 評価対象・実施期間	・・・・・・・・ 5
6 評価の方法	・・・・・・・・ 5
7 外部評価委員	・・・・・・・・ 6
第2章 本市の教育目標	
1 基本理念	・・・・・・・・ 7
2 教育目標	・・・・・・・・ 7
3 基本目標	・・・・・・・・ 7
4 基本的な施策	・・・・・・・・ 8
第3章 教育委員会活動	
1 教育委員会の委員	・・・・・・・・ 9
2 教育委員会の会議	・・・・・・・・ 9
3 その他の活動	・・・・・・・・ 17
第4章 教育委員会施策	
1 基本施策1「健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進の評価」	・ 1 9
2 基本施策2「芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承」	・・・・・・・・ 2 4
3 基本施策3「確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育」	・・・・・・・・ 2 7
4 基本施策4「充実した生涯スポーツ社会の実現」	・・・・・・・・ 3 4
第5章 総合評価	
1 評価	・・・・・・・・ 3 7
2 課題と今後の方向性	・・・・・・・・ 3 7
第6章 評価委員による所見	
1 教育委員会外部評価委員会議	・・・・・・・・ 3 8
2 評価委員による所見	・・・・・・・・ 3 8

はじめに

教育委員会制度は、首長から独立した合議制とレイマンコントロールを特徴とし、教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保、および地域住民の意向反映を目指して、数多くの改正を経て運用されてきました。これにより、地方教育行政の基盤として重要な役割を担っています。

平成20年4月の法改正では、教育委員会の責任体制の明確化と住民への説明責任の強化を目的に、事務の管理・執行状況に関する点検・評価が義務付けられました。本市では、平成19年度より独自の点検・評価制度を構築し、効果的な教育行政の推進に取り組んでいます。

近年、いじめ問題などを背景に、教育委員会の責任の不明確さや危機管理能力の不足が課題として浮上しました。これを受け、平成27年4月の法改正により教育委員会制度改革が実施され、政治的中立性や継続性を維持しつつ、責任体制の明確化、迅速な危機対応、首長との連携強化が求められるようになりました。

本市教育委員会では、平成29年5月より教育長を中心とした新体制に移行し、総合教育会議を通じて市長との連携を一層深めています。また、教育委員会会議では、基本方針や計画の策定といった重要事項を審議し、教育施設の視察や関係者との対話を通じて現場の声を把握。事務局との意見交換を通じて教育施策への理解を深め、地域の実情を反映した会議運営に努めています。

本報告書は、令和6年度の教育委員会の活動状況および施策全般について、外部評価委員の意見を踏まえ、点検・評価の結果をまとめたものです。この成果を活用し、今後もより効果的で地域に根ざした教育行政の推進を目指します。

令和7年12月

さくら市教育委員会

第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要

1 点検・評価制度導入の経緯

平成18年12月に教育基本法が改正され、さらに平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という）が一部改正された。この改正を受けて、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理および執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめて議会に提出するとともに、公表することが新たに規定され、実施されている。

* 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正

この法律は、日本の都道府県・市（特別区を含む）町村における教育行政を規定している法律で、一部改正により、教育委員会は学識経験者の知見を活用し、活動状況の点検・評価を行うことが規定された。

2 点検・評価の趣旨

本市教育委員会は、地教行法第26条に基づき、合議制の教育委員会が決定した教育全体構想に沿った事務を、教育長及び事務局が適切に執行しているかを、教育委員会事務局自らが「事務事業評価」により点検し、改善策を講じる取り組みを進めている。一方で、外部の学識経験者からの異なる視点による意見を聴取し、地域住民に対する説明責任を果たすため、平成19年度から当該点検・評価を実施している。

今後も検討を重ねながら、その趣旨および位置付けに留意し、適切な運用を図っていく。

* 事務事業評価

市が行う仕事の最も基礎的な単位が「事務事業」である。

平成19年度から、市のすべての事務事業について、目的妥当性・有効性・効率性の視点から評価し、業務改善を行っている。

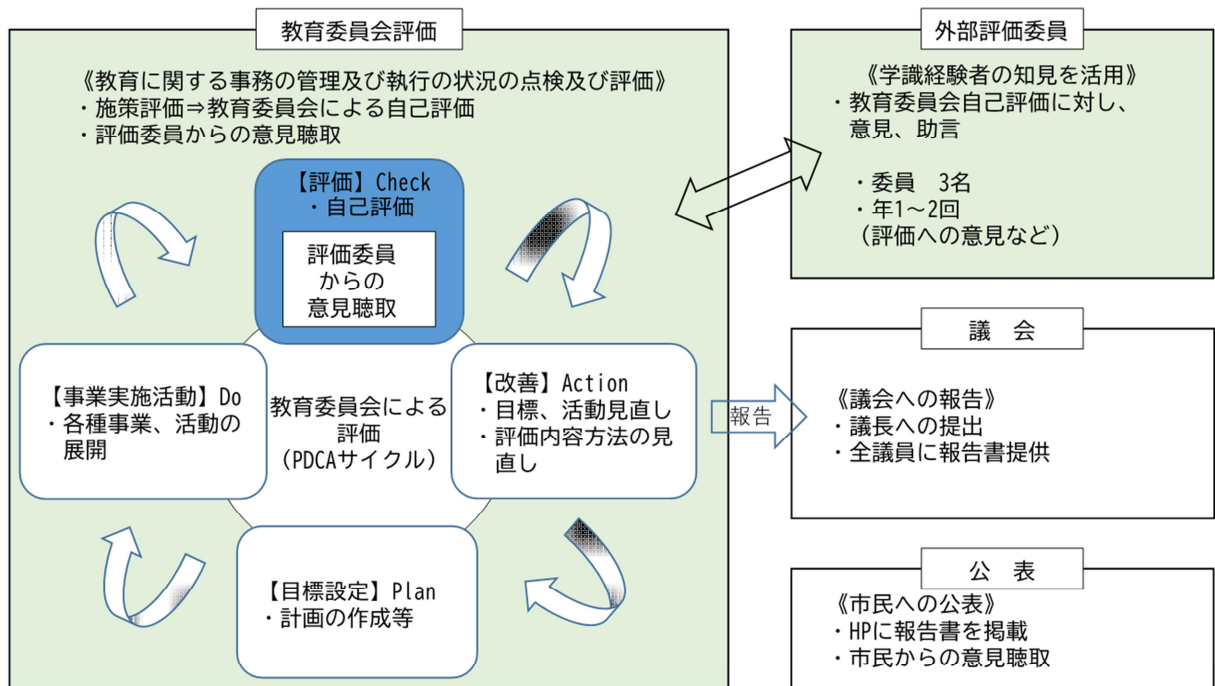
この評価は自ら行うものであり、点検・評価は外部の学識経験者が行う点で、事務事業評価とは異なる。

3 本市の教育委員会評価

本市の評価においては、まず「第1章 教育委員会の点検・評価制度の概要」にて、教育委員会の評価に関する仕組みや評価方法を記載する。次に、『第2章 本市の教育目標』にて、本市が掲げる教育目標を達成するための重点施策を記載する。

次に、本市の教育長及び教育委員で構成される「教育委員会」の事務及び活動については『第3章 教育委員会活動』にて、また「教育委員会事務局」が実施する施策事業については『第4章 教育委員会施策』にて、それぞれ評価を行う。最後に、『第5章 総合評価』にて令和6年度の総合的な評価を行い、『第6章 外部評価委員による所見』にて自己評価に対する外部評価を実施する。

4 評価のしくみ



5 評価対象・実施期間

(1) 対象

令和6年度実施の教育行政全般とする。

◇教育委員会活動

◇教育委員会施策

(2) 実施期間

令和7年4月～12月

6 評価の方法

(1) 自己評価

- ・各主管課及び教育委員会による自己評価の実施
- ・総合的な評価の実施
- ・次年度への課題、今後の方向性の明示

(2) 自己評価に対する評価委員からの意見の聴取

- ・教育委員会外部評価委員会議における意見の聴取
- ・評価表による意見の収集

7 外部評価委員

氏 名	選出分野	経 歴 ・ 所 属
小 林 邦 夫	学校教育分野 生涯スポーツ分野	さくら市スポーツ協会副会長 さくら市スポーツ推進審議会委員 元栃木県立高校校長
長 嶋 孝 子	生涯スポーツ分野 社会教育分野	オピニオンリーダー 栄養士 元さくら市スポーツ推進委員
高 野 美 智 子	社会教育分野 学校教育分野	さくら市博物館協議会委員 地域と学校を結ぶコーディネーター

第2章 本市の教育目標

1 基本理念

気力・体力・学力No.1

凡事徹底の精神で教育の進化を目指します。

目標を達成するために最も大切なことは小さな努力をこつこつと重ねること。当たり前前を当たり前前にはやるのではなく、当たり前前を人には真似できないほど一生懸命にやるのが大切です。

2 教育目標

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、
社会に貢献できる人づくり

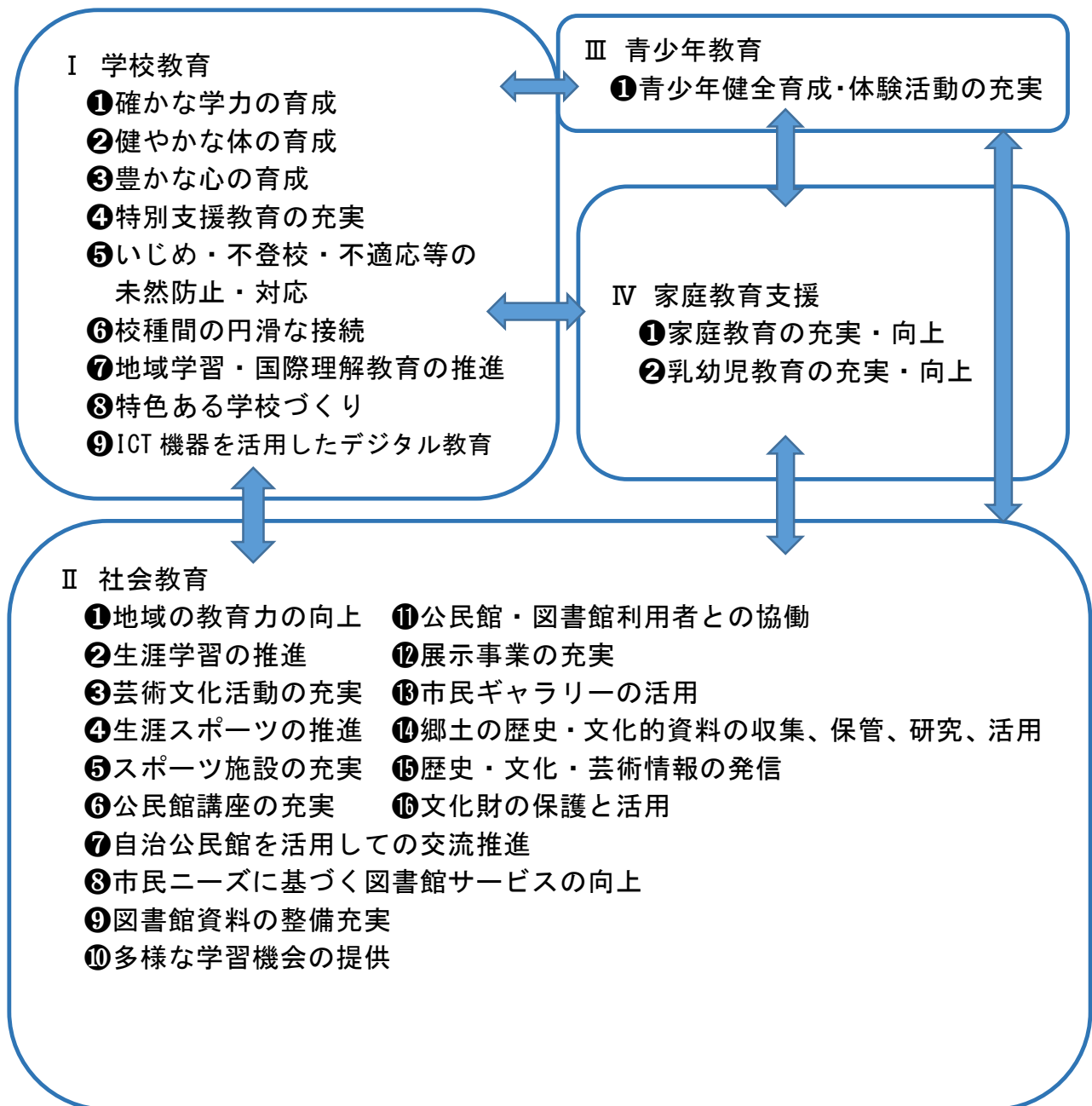
3 基本目標

教育目標の実現を図るために、4つのステージにおいて基本目標を掲げ、実現に取り組んでいます。

分野	基本目標
I 学校教育	一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実
II 社会教育	人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実
III 青少年教育	さまざまな体験・交流をとおして、自分のよさを見つげられる青少年教育の充実
IV 家庭教育支援	自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実

4 基本的な施策

4つのステージにおける基本目標の達成に向けて、それぞれのステージとの相互連携を図りながら、総合的かつ横断的に具体的施策を展開していく。



第3章 教育委員会活動

1 教育委員会の委員

平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、新しい教育委員会制度が開始された。この制度により大綱の策定や首長部局との総合教育会議の開催を通じて、地方公共団体の長と教育委員会が十分に意思疎通を図り、より一層の民意を反映した教育行政の推進が求められるようになった。

さくら市の教育委員は5名で構成されている。4名の教育委員は市議会の同意を得て市長が任命し、任期は4年である。教育行政の重要事項の審議及び意思決定を担う。

教育長は、市議会の同意を得て市長が任命し、任期は3年である。教育委員会の会務を総括し、権限に属する具体的な事務を執行する。

(令和7年3月31日現在)

職名	氏名	任期
教育長	橋本 啓二	令和5年7月1日～令和8年6月30日
教育長職務代理者	中村 浩之	令和6年5月24日～令和10年5月23日
委員	岡崎 真紀	令和4年5月24日～令和8年5月23日
委員	稲見 純子	令和5年6月26日～令和9年6月25日
委員	船生 正興	令和6年4月1日～令和7年5月23日

2 教育委員会の会議

原則として8月を除き毎月1回、定例会を開催している。また、緊急的な事案が発生した場合は、臨時会を開催する。

定例・臨時		議案件数	報告件数	その他
定例会	11回	39件	38件	0件
臨時会	2回	2件	0件	0件

令和6年度教育委員会付議案検討一覧

◇令和6年4月教育委員会【定例会】（令和6年4月19日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案第 2号	さくら市図書館協議会委員の任命について
	議案第 3号	さくら市博物館協議会委員の任命について
報告	報告第 1号	さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の辞任について
	報告第 2号	さくら市生涯学習推進協議会委員の辞任について
	報告第 3号	さくら市学校運営協議会委員の委嘱について
	報告第 4号	さくら市青少年センター運営協議会委員の委嘱について
	報告第 5号	さくら市青少年センター少年育成サポーターの委嘱について
	報告第 6号	さくら市社会教育指導員の任命について
	報告第 7号	さくら市青少年センター少年指導員の任命について
	報告第 8号	区域外就学の許可について
	報告第 9号	要保護及び準要保護者の認定について

◇令和6年5月教育委員会【定例会】（令和6年5月22日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	さくら市図書館条例施行規則の一部改正について
	議案第 2号	さくら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正に対する意見について
	議案第 3号	さくら市立小学校及び中学校の施設の開放に関する使用料条例の一部改正に対する意見について
	議案第 4号	市内プール最適化基本方針の承認について
報告	報告第 1号	さくら市教育支援委員会委員の任命について
	報告第 2号	区域外就学の許可について
	報告第 3号	要保護者及び準要保護者の認定について

◇令和6年6月教育委員会【定例会】（令和6年6月28日）

種別	議案番号	件名
報告	報告第 1号	喜連川中学校屋内運動場等長寿命化改良工事の契約締結について
	報告第 2号	さくら市図書館の管理運営の概要及び選定スケジュールについて
	報告第 3号	さくら市立小学校及び中学校の施設の開放に関する使用料条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について
	報告第 4号	区域外就学の許可について
	報告第 5号	要保護及び準要保護者の認定について

◇令和6年7月教育委員会【定例会】（令和6年7月24日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	令和7年度使用小中学校教科用図書の採択について
	議案第2号	令和6年度9月補正予算要求について
報告	報告第1号	区域外就学の許可について
	報告第2号	要保護及び準要保護者の認定について

◇令和6年9月教育委員会【定例会】（令和6年9月27日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	さくら市学校給食センター条例の制定に対する意見について
	議案第2号	さくら市スクールバス管理規則の一部改正について
	議案第3号	財産の取得の追認に対する意見について
	議案第4号	さくら市図書館条例の一部改正に対する意見について
	議案第5号	さくら市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
報告	報告第1号	専決処分事項の報告について
	報告第2号	株式会社栃木サッカークラブとの包括連携協定について
	報告第3号	区域外就学の許可について
	報告第4号	要保護及び準要保護者の認定について

◇令和6年10月教育委員会【定例会】（令和6年10月30日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	令和6年度12月補正予算要求について
報告	報告第1号	さくら市図書館指定管理候補者の選定について
	報告第2号	区域外就学の許可について
	報告第3号	要保護及び準要保護者の認定について

◇令和6年11月教育委員会【定例会】（令和6年11月27日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	専決処分事項の報告について
	議案第2号	区域外就学の許可について
	議案第3号	区域外就学の許可について
	議案第4号	区域外就学の承認について
報告	報告第1号	後援名義使用許可について（さくら市サッカー協会）
	報告第2号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について

◇令和6年11月教育委員会【臨時会】（令和6年11月29日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	教職員の懲戒処分について

◇令和6年12月教育委員会【定例会】（令和6年12月27日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	さくら市修学旅行延期等に係る取消料等補助金交付要綱の廃止について
	議案第2号	さくら市社会教育関係団体等事業補助金交付要綱の一部改正について
	議案第3号	さくら市体育施設条例の一部改正について
報告	報告第1号	要保護及び準要保護者の認定について

◇令和7年1月教育委員会【定例会】（令和7年1月24日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	さくら市学校給食センター条例施行規則の制定について
	議案第2号	さくら市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
	議案第3号	さくら市教育委員会公印規程の一部改正について
	議案第4号	さくら市教育委員会職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について
	議案第5号	さくら市喜連川給食センター業務処理規程の一部改正について
	議案第6号	さくら市教育委員会文書取扱規程の一部改正について
	議案第7号	さくら市教育委員会防犯カメラ等の管理及び運用に関する要綱の一部改正について
	議案第8号	さくら市学校給食検討委員会設置要綱の廃止について
	議案第9号	さくら市小中学校給食調理業務委託者審査委員会設置要綱の廃止について
	議案第10号	令和7年3月補正予算について
	議案第11号	さくら市都市公園条例の一部改正について
報告	報告第1号	スポーツ大会に出場する者の財政的支援手続きの在り方について
	報告第2号	要保護・準要保護、児童・生徒の新規及び継続認定について 区域外就学の承認について
	報告第3号	要保護及び準要保護者の認定について
	報告第4号	区域外就学の許可について

◇令和7年2月教育委員会【定例会】（令和7年2月21日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第1号	令和7年度当初予算について
	議案第2号	さくら市学校教育事業補助金交付要綱の一部改正について
	議案第3号	さくら市給付型奨学金支給要綱の一部改正について
	議案第4号	さくら市立中学校通学自転車用ヘルメット購入費補助金交付要綱の一部改正について
	議案第5号	さくら市英語検定料助成金交付要綱の一部改正について
	議案第6号	さくら市日本漢字能力検定料助成金交付要綱の一部改正について

	議案第 7号	さくら市オンライン学習環境整備等支援事業費補助金交付要綱の廃止について
	議案第 8号	さくら市立学校給食食材高騰費補助金交付要綱の制定について
	議案第 9号	さくら市インターネットバンキング利用料補助金交付要綱の一部改正について
	議案第10号	さくら市ゆめ！さくら博事業交付金交付要綱の一部改正について
	議案第11号	さくら市伝統文化・文化活動等振興事業費補助金交付要綱の一部改正について
	議案第12号	さくら市博物館資料収集要綱の制定について
	議案第13号	さくら市体育施設条例施行規則の一部改正について
報告	報告第 1号	専決処分事項の報告について
	報告第 2号	要保護及び準要保護者の認定について
	報告第 3号	区域外就学の許可について

◇令和7年3月教育委員会【臨時会】（令和7年3月7日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	令和7年度小中学校職員定期異動について

◇令和7年3月教育委員会【定例会】（令和7年3月26日）

種別	議案番号	件名
議案	議案第 1号	さくら市立学校職員服務規程の一部改正について
	議案第 2号	さくら市立小・中学校管理規則の一部改正について
	議案第 3号	さくら市部活動指導員設置規則の一部改正について
	議案第 4号	さくら市英語指導講師設置規則の制定について
	議案第 5号	さくら市英語指導講師の報酬及び費用弁償に関する規則の制定について
	議案第 6号	さくら市フリースクール等利用料助成金交付要綱の制定について
	議案第 7号	さくら市学校薬剤師の任命について
	議案第 8号	さくら市所在栃木県指定文化財修理等事業費補助金交付要綱の一部改正について
	議案第 9号	さくら市文化財保護条例に基づく補助金交付要綱の一部改正について
	議案第10号	さくら市グラウンドゴルフ場管理事業補助金交付要綱の一部改正について
	議案第11号	さくら市サッカーグラウンド整備事業補助金交付要綱の制定について
報告	報告第 1号	さくら市学校給食センター「マスコットキャラクター」の決定について
	報告第 2号	区域外就学の許可について
	報告第 3号	要保護・準要保護、児童・生徒の認定について

○総合教育会議

日 時：9月27日（金）午後2時00分～ 市役所本庁舎3階委員会室

出席者：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員3名

事務局 総合政策部長、総合政策課長、総合政策課秘書広報戦略室長
教育次長、学校教育課長、生涯学習課長、ミュージアム館長
スポーツ振興課長、学校教育課長補佐

議題	1	令和6年度さくら市教育全体構想について
	2	市長への意見・質問事項について

○後援名義使用許可件数

認可 番号	許可日	受付日	申請者	件名	担当課
1	4/5	4/3	栃木県人権研究集会実行委員会	第20回栃木県人権研究集会	生涯
2	4/10	4/4	第16回雨情音楽祭実行委員会	第16回雨情音楽祭	生涯
3	4/15	4/10	第57回栃木県母親大会実行委員会	第57回栃木県母親大会 in なすの	生涯
4	5/8	5/1	さくら市氏家観光協会	第5回 桜の手紙コンテスト	学教
5	5/10	5/2	栃木県学校視聴覚教育連絡協議会	令和6年度第48回栃木県放送・視聴覚教育研究大会塩谷南那須地区大会	学教
6	5/30	5/27	おばあちゃんにラジオ映画制作委員会	おばあちゃんにラジオ映画制作および上映会	学教
7	6/6	5/31	ピックルボール栃木支部 P-REX	PA TOP TOUR2024 T1 TOCHIGI 全国大会	スポ振
8	6/4	6/3	株式会社 セブンハンドレッド	JGA WAG スクール 1 Day プログラム	スポ振
9	6/21	6/18	さくら市 PTA 協議会	愛のパトロール運動	学教
10	6/21	6/24	うじいえ納涼祭実行委員会	うじいえ納涼祭 2024	生涯
11	7/23	7/22	栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会塩谷大会実行委員会	栃木県特別支援教育手をつなぐ親の会塩谷大会	学教
12	7/31	7/25	M sweet promotion	Lovin&S DREAM POP	生涯
13	8/5	8/6	特定非営利活動法人人権センターとちぎ	第26回栃木県ヒューマンライツセミナー	生涯
14	9/2	8/20	社会福祉法人さくら市社会福祉協議会	第14回福祉講演会	学教
15	9/2	8/29	栃木県少年少女合唱連盟	とちぎ少年少女合唱の祭典	生涯

認可 番号	許可日	受付日	申請者	件名	担当課
16	8/23	8/23	(株) ゴルフリゾート紫塚ゴルフ倶楽部	JGA WAG スクール 1 Day プログラム	学教
17	9/13	9/13	さくら市ゴルフ活性化委員会	第1回さくら市ゴルフコンペ	スポ振
18	9/18	9/18	さくら市サッカー協会	第20回さくらカップジュニアユースサッカー大会	スポ振
19	10/4	10/2	日本オービス(株)	2025 さくら市親子ふれあい絆マラソン	スポ振
20	11/12	11/6	社会福祉協議会	子育て講演会	学教
21	12/6	12/6	氏家法人会	社会貢献事業講演会「平野早矢香講演会」	学教
22	2/3	1/24	第17回雨情音楽祭実行委員長	さくら市20周年記念 第17回雨情音楽祭	生涯
23	2/12	2/7	中小企業アシスト協会	子供と家族の未来を考えるマネー講座	学教
24	2/12	2/4	栃木県ハーモニカ協会	第12回栃木県ハーモニカ交流コンサート	生涯
25	2/12	2/5	氏家少年少女合唱団	第38回氏家少年少女合唱団定期演奏会	生涯
26	2/26	2/26	NPO 法人地域スポーツ振興協会	春の1日体操教室	スポ振
27	3/21	3/13	栃木県人権研究集会実行委員会	第21回栃木県人権研究集会	生涯

3 その他の活動

(1) 各種行事への出席や学校訪問等

各種スポーツ大会、二十歳のつどい、入学式、卒業式、教職員辞令交付式などの式典に出席した。また、学校訪問等を通じて教育現場の状況を把握した。

(2) 委員研修等

教育を取り巻く環境が日々変化する中、教育上の諸課題に対する委員の共通認識を深め、資質向上を図るため研修等を実施した。

事業名	期日	場所	内容
令和6年度 関東甲信越静市町 村教育委員会連合 会総会及び研修会	5月31日	茨城県古河市	演題：「怪異談義 ～妖怪から 学校の怪談まで～」 講師：国立歴史民俗博物館名誉 教授 常光徹氏
令和6年度 塩谷南那須地区 教育委員会連合会 研修会	10月2日	栃木県庁 塩谷庁舎	演題：「パラスポーツ 夢の実 現のために ～信頼、絆、 挑戦～」 講師：ブラインドランナー 加治佐博昭氏 伴走者 豊島聡氏
栃木県市町村 教育委員会連合会 研修会	11月20日	栃木県庁 研修館「講堂」	演題：「東日本大震災及び原発 事故からの教育復興」 講師：福島県双葉郡双葉町 教育長 舘下明夫氏
令和6年度 市村教育委員会研 究協議会	2月7日	東京都 千代田区	教育委員会運営の活性化のた め、全国の他市町村の教育委員 と意見交換を行った。

第4章 教育委員会施策

本市では、行政評価を活用し、第2次総合計画（後期基本計画）に掲げた4つの基本施策を構成する18の基本事業ごとに評価を実施する。

基本施策1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

- 基本事業（1）学ぶ機会の充実
- 基本事業（2）青少年の健全育成
- 基本事業（3）家庭教育支援の充実
- 基本事業（4）読書活動の推進
- 基本事業（5）課外「さくらスクール」による学びの推進

基本施策2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

- 基本事業（1）芸術文化活動の推進
- 基本事業（2）歴史的文化的資源の保存・継承・利活用
- 基本事業（3）ミュージアムの充実

基本施策3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

- 基本事業（1）確かな学力の育成
- 基本事業（2）ICT教育の実践
- 基本事業（3）豊かな心の育成
- 基本事業（4）健やかな体の育成
- 基本事業（5）特別支援教育の充実
- 基本事業（6）安全・安心な教育環境の実現
- 基本事業（7）英語教育の充実

基本施策4 充実した生涯スポーツ社会の実現

- 基本事業（1）生涯スポーツ活動の充実
- 基本事業（2）スポーツ施設の整備
- 基本事業（3）スポーツ団体・指導者の育成

< 施策指標の評価及び総合評価 >

区分	A	B	C
①施策指標の達成度	100%以上	70～100%未満	70%未満
②主要な構成事業の進捗状況	達成・概ね達成した	多少は達成した	達成できず

総合評価	順調	概ね順調	やや遅れ
	A評価が50%以上	A・B評価が50%以上	左記以外

基本施策 1 健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進

施策の目指す姿

生涯にわたる学びの機会とその成果を活かす場があり、豊かな心を持ち、生きがいに満ちた市民が増加しています。

指標名	現状値	目標値	実績値
自主的な生涯学習活動に参加している市民の割合	24.3% (R2年度)	32.0% (R7年度)	29.0% (R6年度)

基本事業（1）学ぶ機会の充実

施策目標	市民の生涯学習の機会が充実しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
生涯学習講座・イベントの参加者数	21,926人 (R1年度)	22,600人 (R7年度)	18,995人 (R6年度)	B
関連する事務事業名	でまえ学び塾開催事業			
事業概要	市民や市職員等の講師を集会所等に派遣する。講師料は無料、材料費等は自己負担となる。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
利用者数	2,697人	3,730人	概ね達成した	A
達成度の評価と説明	学校での授業や、社会更生施設などからの講座依頼が増え、利用者の多様化や拡大が見られた。利用者にとってはどこにいても利用できる充実した学びの機会を、また、講師を務める市民にとっては自分の学んだ成果を活用する場として、生涯学習の振興が図られた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	生涯学習講座・大会開催事業			
事業概要	“まちづくりリーダー”の育成を目的とし、連続講座を開催する。生涯学習振興大会を開催し、市民が生涯学習にふれる機会を提供する。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
市民大学延べ参加者数	94人	27人	多少は達成した	B
生涯学習振興大会来場者数	230人	400人		
達成度の評価と説明	市民大学は学校を会場として、大人と子どもが一緒に学ぶ「みんなの学校！」を2会場で開催した。生涯学習振興大会は、市内で活躍する若者やボランティアと共に活動する地域の方によるトークセッションと、教育評論家尾木直樹氏の講演会を実施した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	概ね順調（A・B評価が50%以上）			

基本事業（２）青少年の健全育成

施策目標	様々な体験活動、研修等を通して、青少年が健やかに成長しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
青少年育成事業における体験活動への児童・生徒の延べ参加者数	411人 (R1年度)	600人 (R7年度)	215人 (R6年度)	C
関連する事務事業名	青少年センター事業			
事業概要	課内に青少年センターを設置し、青少年健全育成事業を行う。運営協議会委員、少年育成サポーター、少年指導員に報酬等を支給する。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
青少年センター事業に参加した人数	723人	722人	達成、概ね達成した	A
少年育成サポーター数	23人	23人		
達成度の評価と説明	少年育成サポーターが体験活動班、ネット研究班、広報啓発班、研修班を編成し、体験活動や研修会の開催、広報紙「夢咲楽～和輪話通信～」の発行、全体活動としてあいさつ巡回活動（小・中・高等学校）を行い、青少年健全育成の推進が図られた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	子ども会連合会育成補助事業			
事業概要	子ども会活動や研修等に対し補助金による支援を行う。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
活動日数	24日	24日	達成、概ね達成した	A
会員数	2,542人	2,311人		
達成度の評価と説明	子ども会事業もおおむね実施でき、子ども会活動の充実が図られた。補助金交付により、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（3）家庭教育支援の充実

施策目標	子ども達を育む家庭の教育力が向上しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
家庭教育支援に関する講座や学級、研修会等の延べ参加者数	1,735人 (R1年度)	2,000人 (R7年度)	2,072人 (R6年度)	A
関連する事務事業名	社会教育・家庭教育支援事業			
事業概要	家庭教育を支援するために、家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育学級生のボランティアを中心に「家庭教育支援チーム」を組織し、家庭教育の重要性を啓発する。			
指標名	R5 実績	R6 実績	達成度	評価
家庭教育講座・講習の実施回数	15回	17回	達成、概ね達成した	A
家庭教育講座の参加者数	1,099人	1,229人		
達成度の評価と説明	親子応援講座を市内6小学校で、親子学び合い事業（ネット時代の歩き方講習会）を市内7校で、就学前の学習・生活体験「おもしろがっこう」を2回、祖父母を対象とした講座を2回実施するなど、計17回の講座や研修を開催した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（４）読書活動の推進

施策目標	本に触れる機会・読書を通じて学ぶ機会が充実しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
図書館の利用者数	165,827人 (R1年度)	167,000人 (R7年度)	130,948人 (R6年度)	B
関連する事務事業名	図書館管理事業			
事業概要	平成27年度から指定管理者制度に移行した。施設管理ほか、資料収集、相互貸借、レファレンス業務、おはなし会や各種講座開催等の事業を市と協議の上、実施する。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
年間貸出点数（図書、雑誌、AV資料）	286,812点	275,830点	達成、概ね達成した	A
年間講座参加者数	4,114人	4,597人		
達成度の評価と説明	講座参加者数について、図書館で開催される事業が市民に広く認知されるようになり、参加者数が年々増加傾向にある。また、図書館利用のきっかけづくりとして図書館ツアー等の新規事業を行ったことが参加者増につながった。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（５）課外「さくらスクール」による学びの推進

施策目標	課外での学びの場で、児童・生徒の確かな学力・豊かな心・健やかな身体が育まれています。				
	指標名	現状値	目標値	実績値	評価
	課外「さくらスクール」の延べ参加者数	5,289人 (R1年度)	7,000人 (R7年度)	5,710人 (R6年度)	B
関連する事務事業名	課外「さくらスクール」事業				
事業概要	課外「さくらスクール」～さくら未来塾～を開設し、学力アップコース（小・中学生）と体験コース（小学生）により子ども達に多くの学びの機会を提供する。				
	指標名	R5 実績	R6 実績	達成度	評価
	申込児童・生徒数	560人	607人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	学力コースにおいては地域の学習サポーターの支援により、参加児童の学力アップや学習意欲の向上を図ることができた。また、体験コースにおいては、児童が様々な体験を行う中で多くの学びの機会を得ることができた。				
具体的な改善策	特になし				
総合評価	順調（A評価が50%以上）				

基本施策 2 芸術・文化・歴史があふれる市民文化の継承

施策の目指す姿

市民が、地域の芸術・文化・歴史に触れることにより、さくら市での暮らしを楽しんでいます。

指標名	現状値	目標値	実績値
芸術・文化・歴史に関する事業に参加している市民の割合	44.7% (R2年度)	45.0% (R7年度)	44.0% (R6年度)

基本事業（1）芸術文化活動の推進

施策目標	多くの市民が芸術文化に関する活動を行っています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
文化振興事業の参加者数	3,380人 (R1年度)	6,000人 (R7年度)	5,692人 (R6年度)	B
関連する事務事業名	定期文化事業			
事業概要	定期的に文化芸術の良さ素晴らしさが市民に伝わるような文化振興事業を実施。幅広く質の高い出演者を選定し、市民への参加選択肢を広げる。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
定期文化事業参加者数	3,793人	3,173人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	計画通りの事業を実施し、目標2,400人に対し3,173人と目標を達成することができた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	児童生徒対象文化芸術振興事業			
事業概要	各校に内容や日程の調整を実施して、候補となる芸術家に交渉、実施の運びとなる。小学校は45分間、中学校50分程度の芸術鑑賞機会の提供を行う。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
芸術鑑賞教室に参加した児童・生徒の数	2,323人	2,519人	多少は達成した	B
達成度の評価と説明	市内小中学校の児童生徒に質の高い芸術鑑賞機会を提供することができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	概ね順調（A・B評価が50%以上）			

基本事業（２）歴史的文化的資源の保存・継承・利活用

施策目標	歴史的文化的財が適正に保存・継承・利活用され、興味・関心を持つ市民が増加しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
市内の文化財に親しんだ市民の割合	15.8% (R2年度)	20.0% (R7年度)	32.0% (R6年度)	A
市民が認知する市内の主要な文化財等の数（全10件）	3.7件 (R2年度)	4.5件 (R7年度)	4.1件 (R6年度)	B
関連する事務事業名	さくら市歴史資料保存・活用事業			
事業概要	氏家町史・喜連川町史編さん事業で収集した歴史資料を整理保存する。市内の歴史資料調査を継続して実施し、収集を行う。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
保存された延べ歴史資料数	10,633点	10,933点	達成、概ね達成した	A
今年度収蔵の歴史資料	336点	300点		
達成度の評価と説明	令和6年度は歴史的行政文書302点を収蔵した。令和5年に刊行した歴史マンガ「足利島子」を引き続き、歴史教育に活用するとともに一般販売も行い、さくら市の歴史を広く周知する。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	瀧澤家住宅保存事業			
事業概要	県指定文化財瀧澤家住宅を保護や維持管理をしながら平成27年度に策定した利活用計画や平成29年度策定予定の整備計画に従い、修理や整備、利活用を行う。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
利用者数	4,135人	2,521人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	市内外で活動する市民・団体等の活動発表の場として活用することで多くの来館者があり、周辺の活性化や、文化財としての建物の周知につながった。突風により破損した北門を緊急で改修工事を実施した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（3）ミュージアムの充実

施策目標	さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—の展示内容・収蔵資料が充実し、多くの市民に親しまれています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
ミュージアムの来館者数	22,706人 (R1年度)	25,000人 (R7年度)	23,283人 (R6年度)	B
ミュージアムの収蔵資料数	34,624点 (R1年度)	34,734点 (R7年度)	29,592点 (R6年度)	B
ミュージアムの企画展観覧者の満足度	96.0% (H30年度)	96.0% (R7年度)	99.0% (R6年度)	A
関連する事務事業名	特別・企画展等開催事業			
事業概要	テーマを持たせた資料観覧の機会を提供する。 ①企画展の開催 ②ギャラリー・トーク ③作品解説会・講演会			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
特別・企画展入館者数	32,303人	23,283人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	さくら市制20周年の記念の年であったため、さくら市の歴史を振り返る展示を行い、サテライト会場を設置し、市全体での展覧、周知が実現できた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	博物館作品購入等事業			
事業概要	郷土の歴史や美術に関わりの深い資料や作品を未来に残すために購入する。併せて収蔵資料を拡充しながらこれらを企画展等により一般に公開する。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
購入並びに寄託、寄贈資料・作品収蔵数	29,191点	29,592点	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	博物館活動に必要な、資料・作品の収蔵が行われた。美術作品4点の寄贈、4点の購入、1点の寄託、歴史資料1点の寄贈、387点の寄託、民俗資料4点の移管があった。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本施策3 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育

施策の目指す姿

児童・生徒が学校で楽しく学びながら県内トップクラスの気力・体力・学力を身につけます。

指標名	現状値	目標値	実績値
学校に行くのが楽しいと思っている児童の割合	91.1% (H29年度)	92.0% (R7年度)	86.9% (R6年度)
学校に行くのが楽しいと思っている生徒の割合	85.3% (H29年度)	87.0% (R7年度)	84.7% (R6年度)

基本事業（1）確かな学力の育成

施策目標	児童・生徒の確かな学力が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学校6年生の国語の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	5.0Pt (R1年度)	5.0Pt (R7年度)	3.0Pt (R6年度)	C
小学校6年生の算数の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	3.0Pt (R1年度)	3.0Pt (R7年度)	3.0Pt (R6年度)	A
中学3年生の国語の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	0.2Pt (R1年度)	1.0Pt (R7年度)	0.0Pt (R6年度)	C
中学3年生の数学の全国学力・学習状況調査における県平均正答率との差	-1.8Pt (R1年度)	0Pt (R7年度)	-3.0Pt (R6年度)	C
関連する事務事業名	小中学校総合学力調査事業			
事業概要	全国学力学習状況調査の結果についてリーフレットを作成し、教科指導の計画に活かす。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
調査結果を分析し授業改善等に生かしている学校の割合	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	国の学力学習状況調査結果を分析を行い、各校の担当者を集めた「学力向上推進研修」を実施し、教育施策及び学校・学級・教科指導の計画に生かすことができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	やや遅れ			

基本事業（２）ICT教育の実践

施策目標	児童・生徒がICT教材を活用して効果的に学習しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
ICTを活用して児童・生徒を指導する能力が備わっている教師の割合	82.5% (R1年度)	90.0% (R7年度)	93.3% (R6年度)	A
関連する事務事業名	学校ICT管理事業			
事業概要	学校において校務、学習等に使用するICT機器・ソフトウェアの管理を行う。国のGIGAスクール構想を推進する。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	1台	1台	達成、概ね達成した	A
普通教室の無線LAN整備率	100%	100%		
達成度の評価と説明	学習者用PCの修繕及び追加購入、APを適切に管理することで、一人一台の学習者用PC環境を維持することができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（3）豊かな心の育成

施策目標	児童・生徒の豊かな心が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学校でいじめが解消した割合	81.2% (R1年度)	100.0% (R7年度)	85.0% (R6年度)	C
中学校でいじめが解消した割合	100.0% (R1年度)	100.0% (R7年度)	94.0% (R6年度)	B
小学校の学校図書室の児童1人当たりの年間貸出冊数	41.6冊 (R1年度)	45.0冊 (R7年度)	67.3冊 (R6年度)	A
中学校の学校図書室の児童1人当たりの年間貸出冊数	10.7冊 (R1年度)	12.0冊 (R7年度)	12.0冊 (R6年度)	A
関連する事務事業名	スクールカウンセラー活用事業			
事業概要	市費で小中学校8校に4人のスクールカウンセラーを派遣するほか、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーによる相談等を行う。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
市費スクールカウンセラー派遣時間	1,092回	1,092回	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	特に配慮が必要な児童生徒が安定した学校生活を送れるようにすることができた。また、悩みがある保護者のカウンセリングを実施した。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（４）健やかな体の育成

施策目標	児童・生徒の健やかな体が育成されています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小学5年生の体力・運動能力調査の全国平均点との差	-0.1点 (R1年度)	4.0点 (R7年度)	1.45点 (R6年度)	C
中学2年生の体力・運動能力調査の全国平均点との差	-1.2点 (R1年度)	0点 (R7年度)	-1.25点 (R6年度)	C
総合評価	やや遅れ			

基本事業（5）特別支援教育の充実

施策目標	障がいのある児童・生徒が障がいの程度にあわせてきめ細やかな教育を受けています。				
	指標名	現状値	目標値	実績値	評価
	特別支援教室担当非常勤講師1人当たりの特別支援教室在籍児童・生徒数	7.1人 (R2年度)	6.0人 (R7年度)	8.3人 (R6年度)	A
	総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（6）安全・安心な教育環境の実現

施策目標	児童・生徒が安全・安心な教育環境で学んでいます。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
小中学校の校舎・施設の長寿命化改修件数	0件 (R2年度)	3件 (R7年度)	3件 (R6年度)	A
施設維持管理上の不備による教育支障件数	0件 (R1年度)	0件 (R7年度)	0件 (R6年度)	A
児童・生徒が登下校時に巻き込まれた事件・事故件数	4件 (R1年度)	0件 (R7年度)	12件 (R6年度)	C
関連する事務事業名	小学校施設補修整備事業			
事業概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
要望対応率	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し、即時対応を実施することができた。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	中学校施設補修整備事業			
事業概要	各小学校施設及び設備の補修や整備。現地調査・ヒアリングを行い、緊急度や重要度に応じて実施。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
要望対応率	100%	100%	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	当初計画に加え、学校からの要望に対し、即時対応を実施することができた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（7）英語教育の充実

施策目標	児童・生徒が充実した英語教育を受けています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
C E F R の A1 レベル相当又はそれ以上の英語力を有する中学 3 年生の割合	35.9% (R1 年度)	37.0% (R7 年度)	37.2% (R6 年度)	A
関連する事務事業名	外国語教育推進事業			
事業概要	小学校・中学校・公立保育園に英語指導助手・英語活動支援員を派遣する。			
指標名	R5 実績	R6 実績	達成度	評価
小学校における児童一人あたりの授業実施数	39 時間	39 時間	達成、概ね達成した	A
中学校における生徒一人あたりの授業実施数	70 時間	70 時間		
達成度の評価と説明	小学校・中学校に英語指導助手（A L T）、小学校に英語活動支援員を派遣し、授業を実施した。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	市立中学校国際交流事業			
事業概要	中学生徒から派遣団員を選考し、現地学校との交流やホームステイを行う。			
指標名	R5 実績	R6 実績	達成度	評価
事業参加生徒数	20 人	20 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	市内中学 2 年生 20 名をアメリカに 9 日間派遣し、4 日間のホームステイを実施した。現地中学校との交流を深めた。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A 評価が 50% 以上）			

基本施策 4 充実した生涯スポーツ社会の実現

施策の目指す姿

市民が定期的にスポーツや体を動かすレクリエーションを楽しんでいます。

指標名	現状値	目標値	実績値
週1回以上スポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	33.2% (R2年度)	34.0% (R7年度)	34.1% (R6年度)

基本事業（1）生涯スポーツ活動の充実

施策目標	各種スポーツ教室、大会等が開催され、多くの市民が参加しています。				
	指標名	現状値	目標値	実績値	評価
	各種スポーツ教室・大会の延べ参加者数	136千人 (R2年度)	145千人 (R7年度)	103千人 (R6年度)	B
関連する事務事業名	各種スポーツ大会、教室開催事業				
事業概要	市民のスポーツ活動の促進及び健康増進を図るため、ニュースポーツ教室、市民ハイキング等の事業を行う。				
	指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
	各大会等の参加者数	1,358人	979人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	市民が各教室に参加し、スポーツ活動の促進及び健康増進に繋がった。				
具体的な改善策	特になし				
関連する事務事業名	スポーツ大会出場奨励事業				
事業概要	市を代表して、世界大会・全国大会・関東大会等へ出場した選手に対して奨励金（報償）を交付する。				
	指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
	関東大会以上の規模の大会へ出場した選手の人数	134人	157人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	関東大会以上の規模の大会へ出場した個人・団体への支援を行うことにより、市のスポーツ振興発展と競技力向上を図ることにつながった。				
具体的な改善策	特になし				
総合評価	順調（A評価が50%以上）				

基本事業（２）スポーツ施設の整備

施策目標	市民が希望するスポーツ施設が整備され、多くの市民が利用しています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
市内の体育施設の年間延べ利用者数	292 千人 (R2 年度)	360 千人 (R7 年度)	290 千人 (R6 年度)	B
関連する事務事業名	氏家体育館管理事業			
事業概要	利用者の安全性、利便性を高めるために維持管理を行う。 日常的な管理作業は、シルバー人材センターに委託している。			
指標名	R5 実績	R6 実績	達成度	評価
利用者数	59,194 人	66,899 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	利用者数が前年度及び当初の計画よりも上回った。特に、トレーニング室の利用者が増加している。			
具体的な改善策	特になし			
関連する事務事業名	さくらスタジアム管理事業			
事業概要	1. 利用時間 9時～21時（日曜・祝日は17時） 2. 休場日 年末年始 （平成27年10月1日設置）			
指標名	R5 実績	R6 実績	達成度	評価
利用者数	21,141 人	23,242 人	達成、概ね達成した	A
達成度の評価と説明	利用者数が前年度及び当初の計画よりも上回った。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

基本事業（3）スポーツ団体・指導者の育成

施策目標	指導者が充実し、スポーツ団体の活動が盛んにおこなわれています。			
指標名	現状値	目標値	実績値	評価
スポーツ団体、教室等の指導者数	412人 (R2年度)	430人 (R7年度)	279人 (R6年度)	C
関連する事務事業名	さくら市スポーツ協会補助事業			
事業概要	生涯スポーツの振興と市民の体力向上及び健全なスポーツ精神の育成を図るため、市スポーツ協会が実施する事業に対して補助を行う。			
指標名	R5実績	R6実績	達成度	評価
大会のべ参加者数	12,080人	13,658人	達成、概ね達成した	A
教室のべ参加者数	64,745人	79,448人		
達成度の評価と説明	スポーツ協会への補助を通して、各種大会、教室が開催され、市民スポーツの普及及び健康・体力の維持増進が図られた。令和6年度は、縮小されていた大会や教室の開催も増加し、コロナ禍以前の水準に戻りつつある。			
具体的な改善策	特になし			
総合評価	順調（A評価が50%以上）			

第5章 総合評価

1 評価

【教育委員会の活動】

- ・教育委員会の活動については、市外の教育施設の視察や市町村教育委員会研究協議会への参加を通じて、全国的な事例を研究することで、各課の業務の現状や課題に対する理解を深め、委員間の共通認識を形成することができた。これらの取り組みにより、教育委員会会議において、教育現場の実態や意向を踏まえた充実した議論を行うことができた。また、教育委員会の主要事業の進行管理報告、教育委員会会議における自由討議、各課の事業の現状・課題に関する意見交換等を積極的に実施し、教育委員による教育長及び教育委員会事務局の事務執行に対するチェック機能を強化することができた。
- ・総合教育会議については、教育委員が市長の各種教育課題に関する考え方を聴取することで、さくら市の教育行政全般の今後の方向性について市長と共通認識を形成することができた。また、さくら市の教育のさらなる充実に向けて、市長と教育委員会が連携して取り組むことを確認した。

【教育委員会施策】

- ・教育委員会の施策については、第2次総合計画（後期基本計画）の体系のうち、教育委員会に関係する4つの基本施策及びこれを構成する18の基本事業について、本市で実施している行政評価を活用して評価した。その結果、基本施策を構成する16の基本事業について、施策指標の達成度や市民意識調査結果の満足度等に基づく総合評価は「概ね順調」または「順調」であり、計画的に施策事業の推進が図られている。

2 課題と今後の方向性

【教育委員会の活動】

- ・教育委員会の活動については、教育委員会会議において教育現場の実態や意向を踏まえた充実した議論を行う必要があることから、時事的な教育課題を捉えつつ、教育施設の視察や教育懇談会等の充実を図る。また、視察等の実施に際しては、可能な限り教育委員会会議と同日に開催するなど、効果的かつ効率的な活動に取り組む。
- ・総合教育会議については、第2次総合計画に掲げる「気力・体力・学力 No.1」の実現に向けて、市長と教育委員会がより緊密に連携し、総合的かつ横断的な教育行政を推進することが重要であることから、会議を通じて協議・調整を行い、教育行政のさらなる充実に努める。

【教育委員会施策】

- ・教育委員会の施策については、「気力・体力・学力 No.1」という教育目標の実現に向けて、総合的かつ体系的に教育行政を推進する必要があることから、ICTの効果的な活用や、安心・安全で快適な学校環境の整備を通じて学校教育を推進する。また、家庭・地域の教育力の向上、文化振興、生涯スポーツの推進等に取り組む。

第6章 評価委員による所見

1 教育委員会外部評価委員会議

【日程】令和7年12月11日（木）

【結果】

- ・事務局からの本年度の教育委員会評価の概要について説明したのち、「教育委員会活動」、「教育委員会施策」についてご意見を頂いた。
- ・各評価委員からの所見については下記のとおり。

2 評価委員による所見

◇ 小林 邦夫 委員

(1) 総合評価

京都の宇都宮市の近郊のさくら市として、学校教育、社会教育、家庭教育支援の全ての教育の面から住みたいさくら市として選択されることを希望します。

(2) 教育委員会の活動

教育の目的は「人格の完成を目指す」です。その中には学校教育における「学力」は重要な要素であると考えます。児童生徒の学力がよりいっそう向上し、将来への選択肢が広がる学校教育を期待します。

(3) 教育委員会の施策

多方面で「費用対効果」という文言を聞きます。教育委員会の限られた予算の中で住み良いさくら市になる。教育面からの施策の展開を期待しています。

◇ 長嶋 孝子 委員

(1) 総合評価

さくらの教育目標である「心身共に健康で生涯にわたり自己実現し社会に貢献できる人づくり」の実現を図るために教育委員会との連携を取りながら十分に機能していると評価します。

(2) 教育委員会の活動

教育委員会における会議（定例会、臨時会）を通して重要事項が的確に審議・解決していると認識します。今後も丁寧な問題解決に努めてください。

(3) 教育委員会の施策

基本施策1～4に基づき、事業が順調に進められていると思います。今後も「さくら市に生まれ育ち教育を受け、住んでよかった」と思える施策を望みます。

◇ 高野 美智子 委員

(1) 総合評価

全体として、現状の取り組みや運営状況に大きな問題は見受けられません。各分野において一定の成果が挙げられていると認識しており、今後も安定した運営が期待されます。

(2) 教育委員会の活動

教育委員会の活動につきましては、定例会議や各種行事、視察等を通じて現場の意見が反映されている印象です。特に強く指摘する点はなく、今後も現状の運営を継続することで、さらなる充実が図られるものと考えます。

(3) 教育委員会の施策

施策面では、各基本事業の進捗や評価結果に基づく改善の取り組みが進められていると認められます。現時点では大きな問題点はなく、必要に応じて微調整を行いつつ、将来的な発展に向けた基盤が整えられていると判断します。